

## 山梨福祉財団助成事業 絵本・紙芝居を購入しました。

一般財団法人 山梨福祉財団は、山梨県における社会福祉の充実と発展のため、社会福祉施設への助成等を行っています。また、児童、母子、高齢者、障害者などが安定した社会生活を営むために必要な能力の育成、回復、補強をすすめています。

山梨県における公共の福祉の増進に寄与する事を目的とした助成を行います。



子どもたちへの読み聞かせ

の助成金を活用し、子どもたちに人気の「くれよんのくまちゃんシリーズ」や、もしもの時に備える「防災紙芝居」等絵本、紙芝居全194冊を購入しました。幼児期における絵本の読み聞かせは、子どもたちの想像力を無限に広げます。今回購入した絵本は、保育所での読み聞かせの他に、各家庭への貸し出しも行いますので、ご活用下さい。



## 保育所やこまいもほり体験

10月24日(木)、栄・睦合保育所は合同で睦合保育所の近くの畑で、富河保育所は隣接する畑でこまいもほり体験をしました。5月に苗の植え付けをしてから、この日を心待ちにしていた子どもたちは、澄み切った秋空のもと、土の中から大きく育ったおいもを掘り出しては歓声を上げていました。収穫したおいもは、各自分けて家に持ち帰りました。次の日には、園児が思い思いに楽しかったおいもほりの絵を書きました。11月には、収穫したおいもで焼きも大会をします。今から楽しみです。



たくさんとれた～!!

## 山梨県農業まつり農水産業功績者表彰受賞

10月12日(金)、山梨県JA会館で山梨県農業まつり式典が開催され、望月文由さん、ヒナ子さんご夫妻(徳間)が、特産部門で農水産業功績者表彰を受賞しました。

望月夫妻は平成25年度以降、山梨県茶品評会において毎年入賞など、高品質な茶の栽培に対し高い評価を受け、地域特産物の南部茶「甲斐のみどり」の生産振興に大きく貢献しました。今後も南部町の農業の振興に尽力をお願いします。



おめでとうございます

## 法務大臣表彰受賞 人権擁護委員の佐野六夫さん

10月22日(月)、東京の法務省で法務大臣表彰式が行われ、人権擁護委員の佐野六夫さん(文京)が受賞されました。

佐野さんは平成17年7月1日から現在に至るまでの長きにわたり、相談業務や啓発などの人権擁護活動に尽くされた功績が認められての受賞となりました。現在も現役委員として活躍いただいています。



おめでとうございます

## 第16回 町民体育祭

10月7日(日)、アルカディア総合公園運動場で第16回町民体育祭が開催されました。

当日は、雲ひとつない絶好の体育祭日和となり、多くの皆さんが競技に参加し、「スポーツの秋」を満喫しました。

左 ゲートボール競技

下 綱引き決勝



## 第7回 「みんなが考える認知症の会」

10月25日(木)、第7回「みんなが考える認知症の会」が活性化センターで行われ、多くの皆さんにお越しいただきました。

今回は第5回やぶ医者大賞を受賞された市川医師の受賞報告から始まりました。また、テーマを「本人、介護者支援」とし、「富士宮市の取り組み、本人及びご家族の話」、「フレイルと認知症について」の講話、金森理学療法士による「認知症予防体操」等が行われました。

南部町では医療センター市川医師・万沢診療所 永谷医師、または地域包括支援センター(分庁舎福祉保健課内)で、相談等ができますのでご利用ください。



認知症について学びました

## 「南部町救命講習会」を開催!

10月28日(日)「南部町救命講習会」が峡南消防本部 中部消防署南分署署員の指導の下、南部町農村環境改善センターにて行われました。講習会ではAEDを使用した心肺蘇生法・止血法・異物除去法等、一分一秒を争う場面に直面した際に役立つ、応急手当・救命措置の方法を学びました。傷病者を救うべく「住民」から「救急隊」へ、「救急隊」から「医師」へ、命のバトンを引き継ぐ「救命のリレー」を遂行させないために、一人でも多くの方が応急手当・救命措置の方法を習得することが大切です。



応急・救命措置を学びました